

3.1 自然的状況に係る資料

3.1.1 海棲哺乳類（スナメリ）の確認状況

1. 自然環境保全基礎調査

「自然環境保全基礎調査 海域自然環境保全基礎調査 海棲動物調査報告書」（環境庁自然保護局、平成10年）によれば、伊勢湾と三河湾では船舶を用いた調査により1,900頭の生息個体数が推定されている。

また、「自然環境保全基礎調査 海域自然環境保全基礎調査 海棲動物調査（スナメリ生息調査）報告書」（環境省自然環境局、平成14年）によると、伊勢湾及び三河湾において航空機による調査を実施し、解析の結果、伊勢湾3,038頭、三河湾705頭を暫定的な推定個体数としている。

航空機による調査で確認されたスナメリの頭数は、付表3.1-1のとおりである。親子づれの発見は全体で63組あり、全発見頭数に対する親子づれが占める割合は、36.1%であった。

付表 3.1-1 伊勢湾・三河湾におけるスナメリの発見数

調査日	1次発見			2次発見			合計（1次+2次）		
	群数	頭数	親子組数	群数	頭数	親子組数	群数	頭数	親子組数
平成12年5月15日	68	144	25	15	31	7	83	175	32
平成12年5月16日	32	58	6	4	24	2	36	82	8
平成12年5月22日午前	3	11	0	27	67	20	30	78	20
平成12年5月22日午後	6	14	3	0	0	0	6	14	3
合計	109	227	34	46	122	29	155	349	63

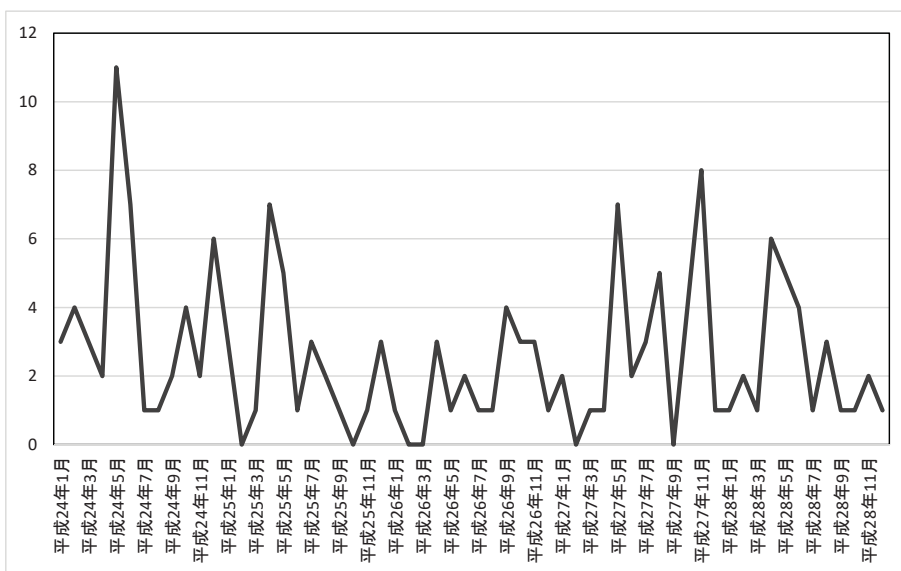
注：1次発見は、あらかじめ決められた調査ラインを指定高度、指定速度で左右の観察者が同時に観察しているときの発見を示し、2次発見は、往復路を含む上記の条件に当てはまらない発見を示す。

〔「自然環境保全基礎調査 海域自然環境保全基礎調査 海棲動物調査（スナメリ生息調査）報告書」
（環境省自然環境局、平成14年）より作成〕

2. 南知多ビーチランドの資料

伊勢湾、三河湾及び遠州灘における平成 24 年から平成 28 年の 5 年間に於ける海棲哺乳類のストランディング※は、付図 3.1-1 及び付図 3.1-2 のとおりである。

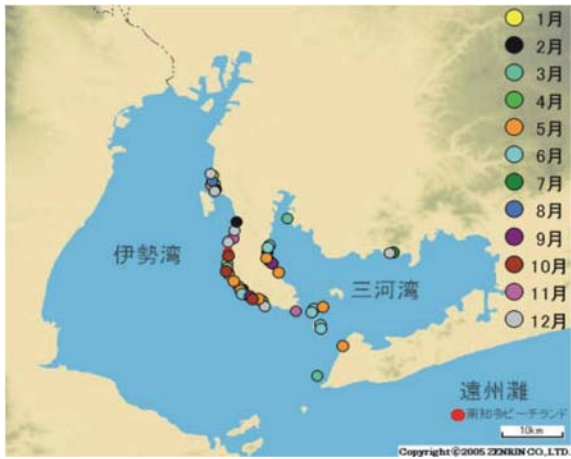
海棲哺乳類の漂着地点は、伊勢湾では中部国際空港付近の蒲池海岸及び中部国際空港の南部に位置する奥田海岸、野間海岸、小野浦海岸等である。



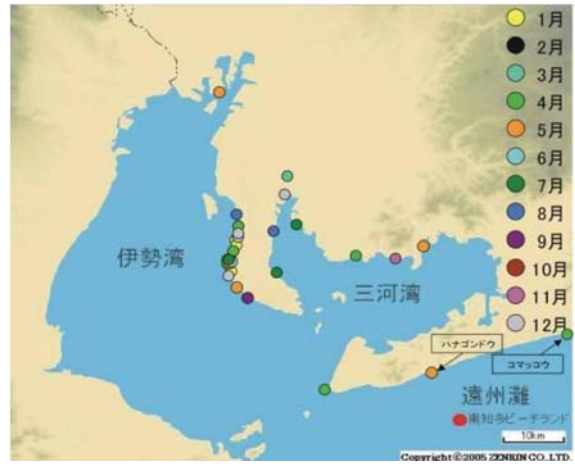
付図 3.1-1 伊勢湾、三河湾及び遠州灘における海棲哺乳類のストランディング例数（平成 24 年～平成 28 年）

「2012～2016 年にストランディングした海棲哺乳類について」
（南知多ビーチランド HP）より作成

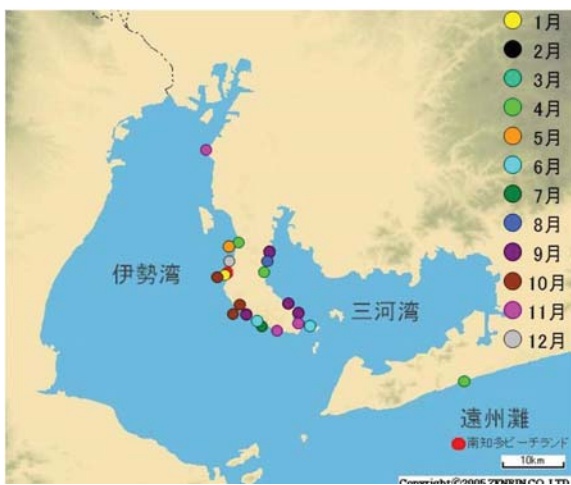
※ストランディングとは（一財）日本鯨類研究所によると「海棲哺乳類が海岸線から陸地側へ生きた状態で座礁したり、死んだ状態で漂着し、自力で本来の生息域に戻ることができなくなる」とされている。



平成 24 年



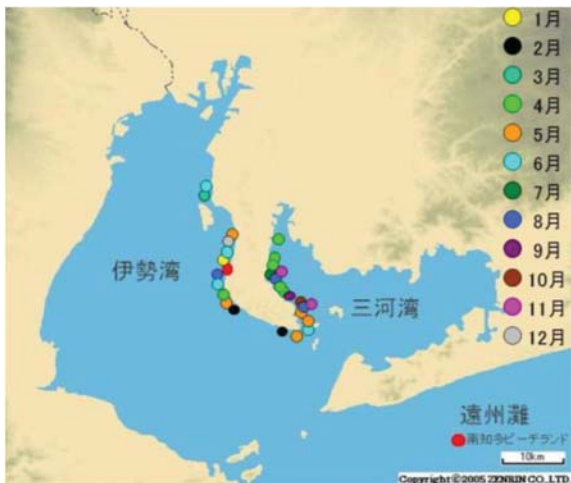
平成 25 年



平成 26 年



平成 27 年



平成 28 年

付図 3.1-2 海棲哺乳類の漂着地点（平成 24 年～平成 28 年）

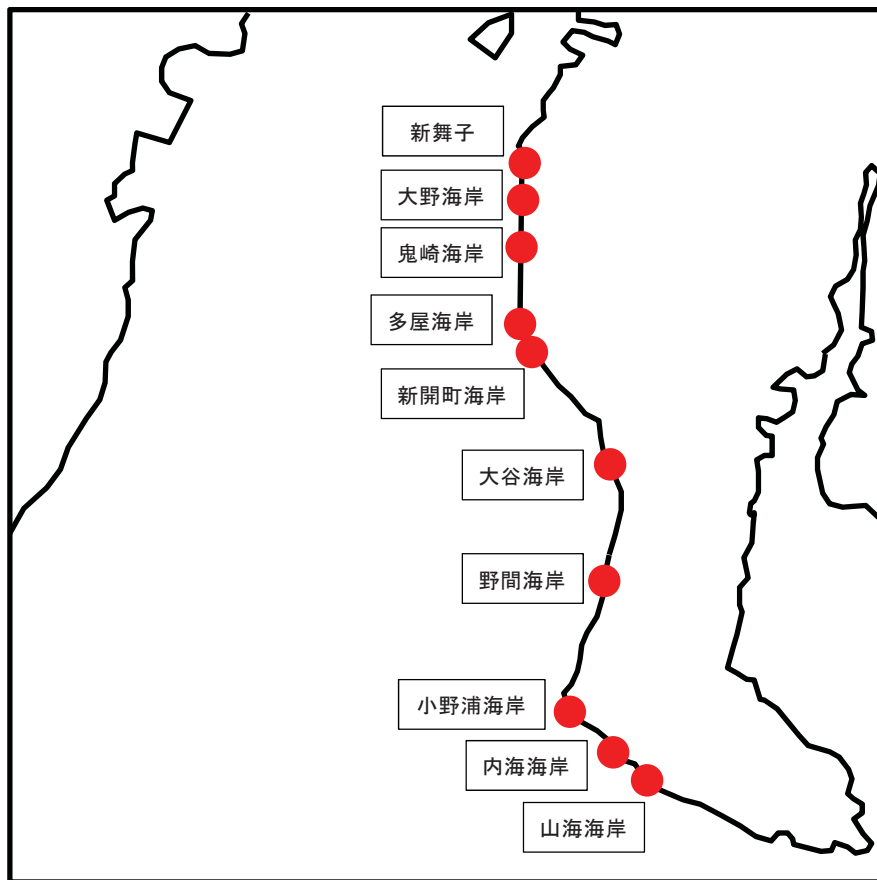
「2012～2016 年にストランディングした海棲哺乳類について」
 （南知多ビーチランド HP）より作成

3.1.2 海棲爬虫類（アカウミガメ）の確認状況

1. 自然環境保全基礎調査

「自然環境保全基礎調査 海域自然環境保全基礎調査 海棲動物調査報告書」（環境庁自然保護局、平成 10 年）によれば、愛知県の伊勢湾側では、多屋海岸、小野浦、内海東浜、山海で 1～10 頭の産卵上陸が記録されている。

また、「自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査（ウミガメ調査）報告書」（環境省自然環境局、平成 14 年）による知多半島の伊勢湾側におけるアカウミガメの上陸記録は付図 3.1-3 のとおりである。



注：地形は、出典の図面を参考に作成した。

付図 3.1-3 アカウミガメ上陸地点

〔「自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査（ウミガメ調査）報告書」
（環境省自然環境局、平成 14 年）より作成〕

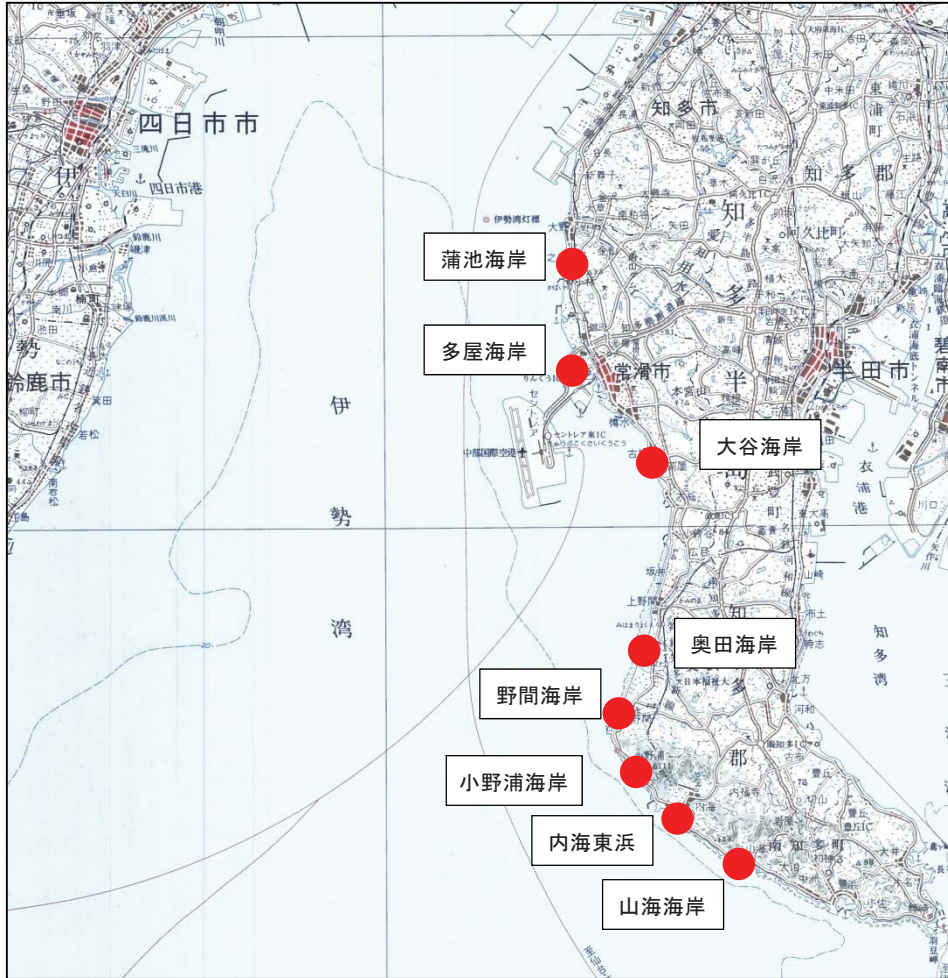
2. 南知多ビーチランドの資料

平成 22 年～平成 28 年の 7 年間に於ける海棲爬虫類の産卵状況は、付表 3.1-2 及び付図 3.1-4 のとおりであり、知多半島西側では常滑市蒲池海岸～山海海水浴場に至る海岸でウミガメ類が確認されている。産卵している種はすべてアカウミガメである。

付表 3.1-2 知多半島西側における海棲爬虫類の産卵状況

年	確認日	場所	備考
平成 22 年	6 月 24 日	奥田（北奥田）海岸	アカウミガメ
	7 月 9 日	山海海岸	アカウミガメ
	7 月 18 日	奥田（南奥田）海岸	アカウミガメ
	7 月？日	多屋海岸	アカウミガメ
	7 月？日	奥田（南奥田）海岸	アカウミガメ
平成 23 年	6 月 22 日	奥田（中奥田）海岸	アカウミガメ
	7 月 14 日	奥田（南奥田）海岸	アカウミガメ
平成 24 年	7 月 11 日	大谷海岸	アカウミガメ
	8 月 8 日	奥田（中真田）海岸	アカウミガメ
	8 月 10 日	奥田（南奥田）海岸	アカウミガメ
	8 月 25 日	野間海岸	アカウミガメ
	産卵日不明	内海東浜	アカウミガメ
平成 25 年	7 月 11 日	奥田海岸	アカウミガメ
	7 月 31 日	蒲池海岸	アカウミガメ
	—	りんくうビーチ（常滑市）	アカウミガメ（雌。産卵には至らなかった。）
平成 26 年	6 月 20 日	小野浦海岸	アカウミガメ
	7 月 4 日	奥田海岸	アカウミガメ
	7 月 20 日	小野浦海岸	アカウミガメ
平成 27 年	—	奥田海岸	アカウミガメ（台風により卵流出）
	8 月 12 日	若松海岸	アカウミガメ
平成 28 年	6 月 7 日	内海つぶてヶ浦	アカウミガメ
	6 月 26 日	若松海岸	アカウミガメ

〔「知多半島周辺におけるウミガメ類産卵状況及び死亡漂着情報」
（南知多ビーチランド HP）より作成〕



付図 3.1-4 知多半島西側における海棲爬虫類の主な産卵場所
 「知多半島周辺におけるウミガメ類産卵状況及び死亡漂着情報」
 (南知多ビーチランドHP) より作成

3. 国土交通省の情報（伊勢湾環境データベース）

伊勢湾環境データベースによるアカウミガメの上陸、産卵の確認状況は、付図 3.1-5 のとおりであり、平成元（1992）年～平成 15（2003）年の愛知県側において、年に 0～5 回程度でアカウミガメの上陸、産卵が確認されている。



付図 3.1-5 知多半島周辺におけるアカウミガメの上陸及び産卵地

注：1. 知多半島沿岸の情報を抜粋した。

2. アカウミガメ上陸・産卵地点は平成元（1992）年～平成 15（2003）年の調査結果である。

〔「伊勢湾環境データベース」（国土交通省中部地方整備局 HP）より作成〕

